

駒林小 学校便り

令和2年度
3月号
2月26日発行

感謝の気持ち

校長 西尾 武泰

寒さの厳しかった2月が去り、日の出の時間も早くなり、少しずつ春の気配を感じられる季節となりました。新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が延長されたので、学校でもより一層の感染拡大防止や予防に努めているところです。毎年この時期はノロウイルスやインフルエンザが猛威を振るい、学級閉鎖になることが多いのですが、今年度は今のところ発生がありません。マスクの着用や手洗い、そして室内の換気などがいかに効果的かを実感することもできました。まだまだ気が抜けない状況ですが、この調子で学年末の学校生活が充実できるよう意識していきたいと思います。保護者の皆様には、日頃の検温などご家庭でのご協力に感謝します。



そのような2月でしたが、本校では例年保護者や地域の皆様を招待して総合的な学習の発表をする「フェスティバル駒林(フェス駒)」が開催されました。残念ながら授業参観が中止となってしまったので、今年は掲示物を児童がお互いに見合う形態となりました。作品掲示の様子は本校のホームページにも載せていますが、どの学年も自分たちが学習した足跡をきちんと伝えていました。相手意識をもち、わかりやすく伝えるための工夫もされていました。私も作品を一つ一つ見ましたが、「自分が学んだこと」「地域への思い」「駒林小学校の良さ」など、紙面全体に子どもたちの思いがあふれていましたし、成長を感じることもできました。

3月はそれぞれの学年で、一年間のまとめをしっかりと行い、来年度に向けての準備をする大切な月です。学習はもちろんですが、共に過ごしたクラスのお友達や先生達との思い出を整理し、来年度の目標をきちんと精査して次のステージに進むことが大切です。

この一年間、皆様には大変お世話になりました。これからも、子どもたち一人ひとりが感動と成就感、達成感がもてる学校生活を送ることができるよう、学習指導や生活指導に一層の努力をしていきたいと思っています。来年度も本校の教育活動にご理解とご協力をいただけるよう、よろしくお願いいたします。職員一同、感謝の気持ちでいっぱいです。一年間ありがとうございました。